

## 地域のご要望にこたえて

### ① 函館財務事務所との連携

北海道教育大学函館校  
准教授 奥平理

#### 1. 「地域プロジェクト」について

本学の「地域プロジェクト」とは、地域で活躍する上で必要な実践的課題解決能力を養うために、平成27年度に新学科全学生の必修科目として新設された地域課題解決型PBL(「Problem Based Learning=課題解決型学習」かつ「Project Based Learning=企画構想実施型学習」)科目である。

#### 2. 函館財務事務所との連携とチーム作り

##### ー前期

今年度の「地域プロジェクト」では、財務省函館財務事務所との協働で「『財政教育プログラム』刷新協働プロジェクト」に取り組んだ。4月から函館財務事務所の担当者と学生、小生がチームを組み、「12月に附属函館中学校で行われる『財政教育プログラム』授業を実際に自分たちが行って成功させる」ことを目標に据えて、前期は昨年度の授業振り返り、改善点や追加する内容を討議するグループワーク、附属函館中学校の先生と函館財務事務所の担当者・学生によるディスカッションなどを積極的に実施した。前期終わりの7月31日には「中間発表会」が行われ、授業前半の「講義」の内容が完成したことを報告した。

#### 3. 附属函館中学校での授業と成果発表会にむけてー後期

後期に入ると学生の緊張感が高まりはじめたことから、綿密な授業計画書を立案し、繰り返し模擬授業を行った。模擬授業終了後の反省会で

は、改善点について積極的な発言が学生からも相次いだ。そして迎えた12月9日、附属函館中学校で公開授業形式の授業が行われた。当日は函館財務事務所の皆様や市内の他の中学校の先生や報道各社の方が参観するなか、学生たちはこれまでに培ってきた知識と経験を存分に発揮して、中学生の活発な議論を引き出すことができるなど、十分に当初の目標を達成できたといえる。授業終了後の反省会では活発な議論が行われたのだが、前期とは異なり、学生たちが自信を持って発言していて、学生たちの成長を垣間見ることができた。(74ページに函館新聞記事掲載)

公開授業後の12月から1月初めは、新たに函館財務事務所から提示された「小学校向け財政教育パンフレット」を作成し、函館財務事務所の方が市内の小学校で実際に授業を行う際に使用していただいた。そして1月は引き続き、「成果発表会」に向けて、発表で使用するパワーポイントと当日話す内容をブラッシュアップすることで「成果発表会」を成功裏に終えることができた。

#### 4. おわりに

今年度から始まった「函館財務事務所との連携」ではあるが、無事に、そして成功裏に終了することができた。これも、函館財務事務所の皆様や附属函館中学校の皆様、本学関係の皆様からの温かいご支援とご協力、ご指導の賜物であり、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。



授業風景



グループ討議風景



自由討議風景



函館財務事務所石田氏による討議結果発表